

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年7月12日時点)

➤ **露軍が各正面で攻勢を強め、ウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続する一方、ウクライナ軍は火砲や砲弾、防空ミサイルなどの不足に直面する中で防御戦闘を継続**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT23年8月18日)

: 死者約18万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

: 死傷者50万人以上 (英国防省24年5月31日)

「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT23年8月18日)

: 死者3.1万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN23年12月4日)

- 「ウ」作戦・戦略編組部隊「ホルティツァ」報道官は、**チャシフ・ヤールの一部地区から部隊を撤退させた**と表明(7月4日)
- 米戦争研究所 (ISW) は、「ウ」軍が、**チャシフ・ヤールにおいて喪失した陣地を奪還した**と評価(7月9日)
- 露国防省は、7月6日にドネツク州**ソキル村**、7月7日にドネツク州**チガリ村**、9日にドネツク州**ヤスノプロディウカ村**、11日にドネツク州**ヴォスホド村**を解放したと発表

- 露安保会議副議長は、今年6月までの**半年間で新たに19万人が契約軍人として加わった**とするほか、**1日平均約1,000人**が採用されていると発表(7月4日)
- 在「ウ」独大使は、4月に供与を発表した、**3コ中隊目となるペトリオット防空システムが「ウ」に到着した**と発表。また独は、**ゲパルト対空戦車用弾薬9千発等**の支援も発表(7月5日、8日)
- 米、蘭、独、伊、ルーマニアの首脳が発表した声明によると、今後、**米、独、ルーマニアは追加のパトリオット防空システム**、**伊は追加のSAMP/T防空システム**、**蘭はペトリオットの関連機材**を供与する予定(7月9日)
- 米國務長官は、**F-16戦闘機が蘭及びデンマークから輸送中であり、今夏に「ウ」で運用開始する旨**発言(7月10日)
- ノルウェー首相は、**2024年中にF-16戦闘機×6機**を「ウ」に供与する予定と表明(7月10日)
- ポーランド外相は、**最初の「ウ」志願旅団の訓練**を同国で開始しており、同国在住の「ウ」人のうち**数千人が既に参加登録**と発言。同部隊創設は、「ウ」との安全保障協定の一環(7月11日)



- 「ウ」作戦・戦略編組部隊「ホルティツァ」は、「ウ」軍が、ドネツク州**ポクロウスク**方面で露軍の**Su-25×1機を撃墜**したと発表(7月7日)
- 露が、**首都キーウを含む「ウ」都市**に対して、巡航ミサイル**Kh-101×13発**、**Kh-59/Kh-69×3発**、**Kh-22×2発**、「カリブル」×14発、弾道ミサイル「イスカデルM」×4発、「**キンジャル**」×1発、極超音速巡航ミサイル「**ツィルコン**」×1発からなる**38発のミサイル攻撃**を実施した結果、少なくとも**42人が死亡**、**190人が負傷**(7月8日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域

国土地理院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等